

ラッピング電車出発式

◎開催期間/平成27年1月12日～11月15日 ◎会場/名鉄東岡崎駅

名古屋鉄道の各線で、乗車扉に四百年祭のロゴ、ボディに岡崎の四季をデザインした4両×2編成のラッピング特別電車が約1年間運行した。運行初日の1月12日は、名鉄東岡崎駅のホームで出発式が

行われ、グレート家康公「葵」武将隊が電車に乗ってホームに降り立ち、全員で勝鬨を上げて出発を見送った。



出発の号令を出す駅長ら

記念座談会「おかえりなさい、ふるさと岡崎へ」

◎開催日/平成27年4月4日 ◎会場/八丁魚光



ゆかりのご当主の皆さん

車座形式で対談

徳川家、徳川四天王(酒井家、本多家、榊原家、井伊家)、幕末旧藩(大岡家、大給家)の当主がふるさと岡崎の地に集結。法蔵寺(岡崎市本宿町)所蔵の十六神将図にならって車座になり、八丁味噌料理を囲みなが

ら、和やかな雰囲気です座談会が行われた。家康公や岡崎市とのつながり、今も続いている交流のほか、各家に伝わる貴重なエピソードなどが語られた。

東照公産湯の井戸 取水お披露目式

◎開催日/平成27年3月22日 ◎会場/岡崎公園内



お披露目式での勝鬨

「家康公生誕の地」の象徴で、岡崎公園内にある「東照公産湯の井戸」。来訪者がこの水に触れられるように整備した。

3月22日に行われた「取水お披露目式」では、松平家が代々産湯に用い、家康公が生まれたときに早馬で運ばれたとされる松平東照宮(豊田市松平町)の井戸水を、太田豊田市長が岡崎公園内東照公産湯の井戸に注いだ。

オーディションで選ばれた、名鉄キャンペーンのキャラクター「竹っちょ」も立ち会い、多くの来場者と完成を祝った。現在も、毎日9時から16時まで井戸水に触れることができ、出世のパワースポットとして期待されている。



式典を見守る来園者



井戸水に触れる「竹っちょ」

スタンプラリー「家康公 岡崎絵巻」

◎開催期間/平成27年4月1日～11月30日 ◎会場/岡崎市内

岡崎城はじめ岡崎市内の家康公ゆかりの地を巡り、家康公について学ぶスタンプラリーを実施。14カ所のスタンプポイントのうち、8カ所以上のスタンプを集めた応募者の中から抽選で200人に岡崎の特産品などをプレゼント(賞品協賛27事業所200品)。8カ月の期間中、北は北海道から南は熊本県まで1754人の応募(愛知県外238人)があり、うち全14ポイントを制覇した1053人(県外99人)には

岡崎平定賞としてオリジナルクリアファイルを進呈した。応募者のうち、60%の参加者が全14ポイントを巡っており、家康公に対する関心の高さが窺われた。



大樹寺に置かれたスタンプ台



スタンプラリー台紙(表紙)

徳川家康公霊夢像除幕式

◎開催日／平成27年4月5日 ◎会場／大樹寺(岡崎市)



雨中で挙行された除幕式

松平家・徳川家の菩提寺であり、桶狭間から逃れ着いた若き家康公が「厭離穢土 欣求浄土」の八文字を授かった立志の地でもある大樹寺。四百年祭の記念の年に、郷土の英傑・徳川家康公のご遺徳を偲び、その偉大な功績を広く、永く顕彰する証として、三代将軍家光公が夢枕に立たれた家康公を絵師・狩野探幽に描かせたと伝わる霊夢像をモデルに、岡崎の石職人が岡崎産御影石にて製作。

徳川ご宗家や徳川四天王家などのご子孫の臨席のもと、除幕式を執り行った。製作にあたり、133の企業、団体、一般からのご協賛を得た。



本堂であいさつされる徳川恒孝氏



大樹寺63世 堀田貫主を交え記念撮影

田んぼアート

◎開催期間／平成27年5月24日～9月27日 ◎会場／「道の駅 藤川宿」西側農地(岡崎市)

田んぼアートとは、田んぼをキャンパスに見立て、色の異なる稲(古代米など)を使って巨大な絵を作り出すプロジェクト。地元まちづくり団体、農業事業者、学校、道の駅などと連携し、「道の駅 藤川宿」西の国道1号線沿い北側の約7反の農地にて、5月24日開催の「田植え」イベント(参加405人)から9月27日開催の「稲刈り」イベント(参加414人)までの約4カ月間(127日間)にわたって実施した。一般公募で選ばれた図柄を5色の稲で描き、期間中は観光バスを含め、観覧に訪れる多くの市民や観光客で賑わった。



苗が整い、見頃を迎えた7月初旬の見晴らし台からの眺望



苗を手に田植え場所に向かう参加者



葵の葉の部分の田植え風景



来賓と主催者による稲刈りセレモニー

桜まつり 家康行列

◎開催日／平成27年4月5日 ◎会場／岡崎市内一円



沿道の声援に応える家康公(市民公募)

徳川ご宗家ご夫妻も特別参加

毎年4月初旬日曜日に開催される、桜まつりのメインイベントで岡崎市の春の風物詩。家康公四百年祭記念として、家康公をはじめとする武士団、姫列などに加え、徳川宗家当主、徳川四天王当主、幕末旧藩当主や家康公四百年祭おかざきPR隊を務めるお笑い芸人(はんにゃ、トラッシュスター、メロある)も特別参加し、行列を盛り上げた。小雨舞う中、家康公が必勝を祈願したと伝わる伊賀八幡宮から乙川河川敷まで練り歩き、観衆を魅了した。



市内を練り歩いた三河武士団

岡崎城下家康公夏まつり 第67回花火大会

◎開催日／平成27年8月1日 ◎会場／乙川河川敷



「関ヶ原の戦い」をテーマにしたドラマチック・ハナビ

毎年8月第1土曜日に開催され、三河花火発祥の地・岡崎の夏を彩る花火大会。打上花火・仕掛花火も家康公四百年祭ならではの特別演出。

フィナーレは、「関ヶ原の戦い」をテーマに、ナレーションと音楽、効果音による約7分間の「ドラマチック・ハナビ」で、約48万人の観衆を魅了した。



四百年祭の仕掛け花火



岡崎城をバックに夏の夜空を彩るスターマイン

岡崎版吉本新喜劇

◎開催期間／平成27年8月18日～24日 ◎会場／なんばグランド花月(大阪市)

なんばグランド花月(大阪市内)において、岡崎を舞台にした吉本新喜劇「すち子のハッピーウェディング?イン岡崎」を上演(全23公演)。架空の「ホテル花月岡崎店」の結婚披露宴会場で繰り広げられるドタバタ劇で岡崎を紹介。22日には内田市長が家康公四百年祭おかげPR隊長のはんにゃと一緒に出演。テレビ放映もされ、四百年祭と市制100周年をPRした。



岡崎市長(右から2人目)とおかげPR隊長のはんにゃ



なんばグランド花月



コラボレーションステッカー

記念シンポジウム「岡崎発! 美食の道は江戸に通ず」

◎開催日／平成27年8月9日 ◎会場／図書館交流プラザ Libraホール

江戸時代、最高潮に達し大衆化した「和食」。健康に気を配り、江戸の食文化に大きな影響を与えた家康公。家康公生誕の地・岡崎から食について発信し、「江戸」と「岡崎」を結ぶ食文化のつながりに焦点を当てたシンポジウムを開催した。

第1部は徳川恒孝氏の基調講演、第2部は食の時代小説「みをつくし料理帖」シリーズの作者で小説家の

高田郁氏の講演会、第3部は「江戸・きらめく”食の都”」というテーマでパネルディスカッションが行われ、コーディネーターとしてNHK「きょうの料理」アナウンサーの後藤繁榮氏が進行役を務めた。第3部の様子は、NHK-Eテレ「テレビシンポジウム」で全国放送された。



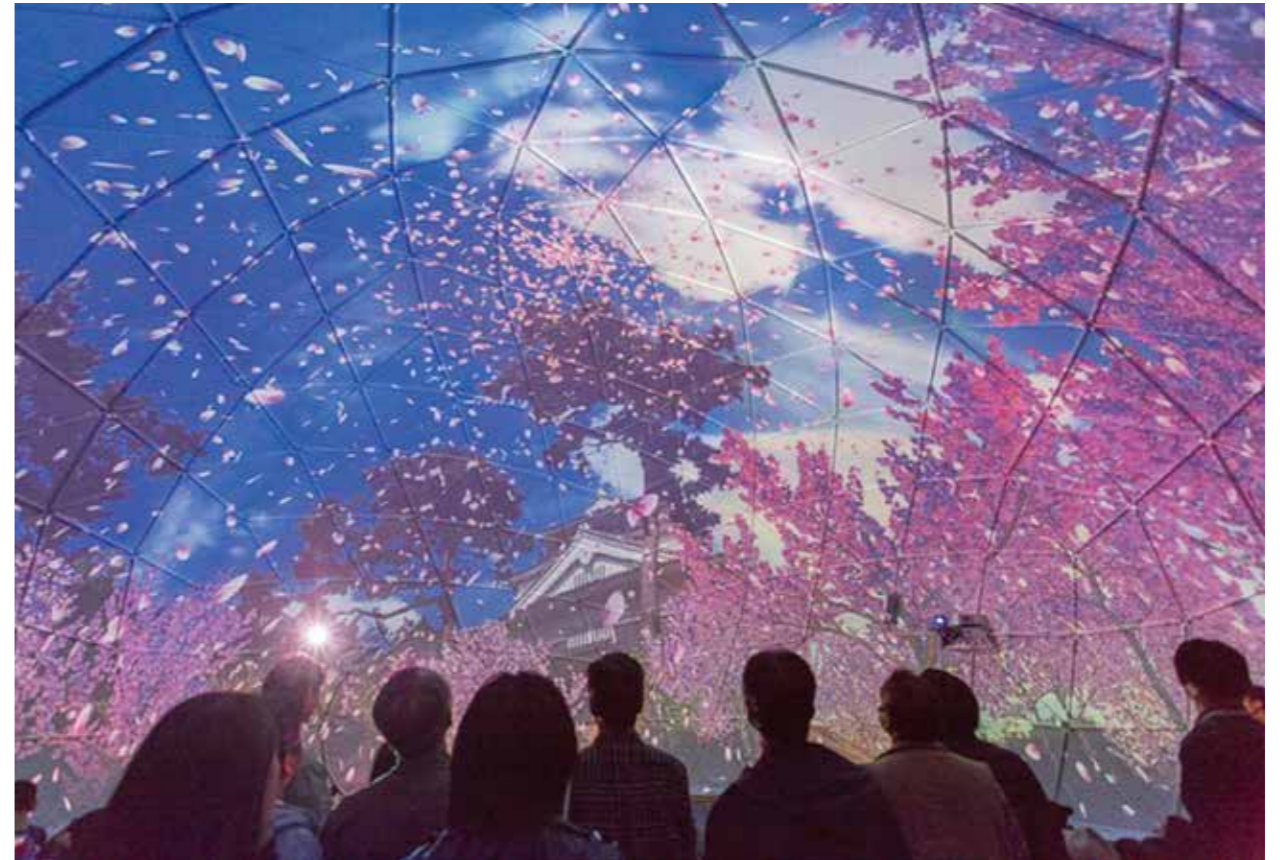
徳川恒孝氏による基調講演



パネルディスカッション

岡崎城まつり～天下泰平ぶらり江戸散歩～

◎開催期間／平成27年10月30日～11月3日 ◎会場／岡崎公園多目的広場



家康公夢シアター

岡崎での記念事業のメインイベントとして、岡崎公園多目的広場で開催。家康公の軌跡を辿りながら、江戸文化が花開く「食」「暮らし」「娯楽」の一大江戸まつりが繰り広げられた。直径13mのドームテント内で360度映像を駆使した、家康公の軌跡を体感する「家康公夢シアター」や各日限定400食の「日替わり天下泰平鍋」、江戸の遊びが体験できる「大江戸にぎわい横丁」のほか、邦楽、落語、手妻などの伝統芸能が「おかげ大江戸座」で披露された。子どもたちは駕籠乗り体験や乗馬体験で東海道の旅気分を味わったり、紙甲冑を作って纏い、戦ごっこを楽しんだ。



おかげ大江戸座



大江戸にぎわい横丁



日替わり天下泰平鍋(ふるさと鍋、將軍鍋、葵鍋、江戸鍋)

記念シンポジウム「徳川創業期の家康公と家臣団」

◎開催日／平成27年11月1日 ◎会場／岡崎市竜美丘会館

戦乱の世を収め、260余年の泰平社会の礎を築いた家康公や三河武士たちの顕彰を目的に、次の内容で実施。徳川宗家18代徳川恒孝氏はじめ三河武士のご子孫10人をゲストに迎え、各家に伝わる家康公との関わりなどを聞くとともに賑やかに交流が図られた。

第1部

(1) 基調講演「徳川家康の時代」

講師 安部龍太郎氏(作家)
参加者750人

(2) トークショー

「風雲再会!お帰りなさい、ふるさと岡崎へ」

第2部 座談会

(1) 三河武士と家康公

(2) 三河一向一揆

(3) 関ヶ原の合戦

第3部

懇親会「平成三河武士たちの宴」



壇上に勢ぞろいした家康公と三河家臣団のご子孫の皆さま



第1部 トークショー



第2部 座談会「関ヶ原の合戦」

記念講演会「世界から見た家康公」

◎開催日／平成27年12月26日 ◎会場／岡崎信用金庫本店 大ホール

「家康公に学ぶ」を大きなテーマに5回シリーズで記念講演会を開催。最終回は家康公の誕生日である12月26日、エンディングイベントの一環として、徳川宗家18代徳川恒孝氏の嫡男で徳川記念財団理事の徳川家広氏を講師に招き、「世界から見た家康公」をテーマに開催、313人が受講した。



徳川家広氏講演会

〈過去4回の開催内容〉

- 平成26年9月7日「家康公 岡崎での10年
～自立を支えた家臣団とその組織～」
講師 おかざき塾歴史教室主宰 市橋章男氏
- 平成26年10月4日「家康公と徳川四天王」
講師 岡崎市美術博物館学芸員 堀江登志実氏
- 平成26年11月15日「家康公と成瀬正成」
講師 犬山城白帝文庫理事長 成瀬淳子氏
- 平成26年12月26日「人間 徳川家康
～家康公の実像～」
講師 静岡大学名誉教授 小和田哲男氏



公益財団法人 犬山城白帝文庫 理事長 成瀬淳子氏講演会

家康公四百年祭 エンディングセレモニー

◎開催日／平成27年12月26日 ◎会場／岡崎ニューグランドホテルほか



岡崎宣言に7代表が署名



岡崎城ライティングショー



泰平の祈りと三河花火



特別臨時列車で
岡崎入り

家康公四百年祭の3市合同のエンディングセレモニーを家康公の生誕日12月26日に開催。一連の事業を振り返るとともに、「岡崎宣言 ～家康公に学び、地域の誇りと活力を高めよう～」に、静岡県知事・3市長・3会頭が署名し、連携の絆をさらに深め、今後も地域の一層の魅力向上と活性化に取り組んでいくことを約束して閉幕した。

推進委員は、岡崎城下を流れる乙川で実施された、3万個の青い光が乙川の水面を満たす「泰平の祈りプロジェクト」に参加した。併せて岡崎城天守閣を光と音の演出で家康公の生涯を表現するライティングショーが行われ、会場に訪れた多くの来場者が家康公の生誕を祝った。